



埋設管路の耐震設計システム

土地改良事業設計基準・下水道施設の耐震対策指針・水道施設耐震工法指針(縦断方向の埋設管路)

価格 ¥220,000- (税込)

新規購入の場合、別途プロジェクト費用が必要です。

適用基準

- 土地改良事業計画設計基準 設計「パイプライン」(R3/6)
- 下水道施設の耐震対策指針 (社) 日本下水道協会 (2014)
- 水道施設耐震工法指針 (社) 日本水道協会 (2009)

適用管種

- 不とう性管 ○とう性管

主な機能

- 地震時挙動レベル 1&2 の検討
- 液状化の検討
- マンホールと管きよ接合部検討
- 管きよ継手部の検討
- 管きよの管軸方向の検討
- 管きよ継手部の伸縮量の計算
- 液状化に伴う浮上りの検討

計算範囲

- 1.本システムは、縦断方向の埋設管路に対する常時及び地震時挙動の**レベル1地震動・レベル2地震動**の検討が可能です。
- 2.管種(とう性管・不とう性管)の特性値は、**管種別に登録されたDBファイル**より読み込みが可能他、管種DBは**CSV登録**されており**直接管種データの登録・編集**が可能です。
- 3.設計水平震度の算出における**標準値**は、液状化の判定に用いる場合と通常の地震時に適用される場合とで区分けされ、**地域別補正係数(Cz)**を判断し設計水平震度が計算されます。
- 4.地盤条件に応じて、地盤のひずみに影響を与える「**地盤の不均一度係数(η)**」の指定が可能です。
- 5.液状化検討の対象となる土層について**液状化の判定**を行います。
- 6.**マンホールと管きよ接合部**及び**管きよと管きよ継手部**の検討が可能です。
- 7.マンホールと管きよ部および管きよと管きよ部の耐震設計項目として**屈曲角**や**拔出量**の検討の他、**管軸方向のひずみや応力度**の検討を行います。
- 8.管体部の**常時荷重による継手の伸縮量**(内圧による場合、上載荷重による場合**温度変化による場合**、**不同沈下による場合**)の検討を行います。
- 9.計算結果は画面表示され、計算書の印刷は「**入力データ印刷**」「**詳細計算書**」「**検討結果一覧表**」について印刷が可能です。また、RTF変換による**Wordでの編集・出力**も可能です。



システム環境

CONTACT (TEL) : 06-6125-2232 (FAX) : 06-6125-2233

- 基本OS : Windows8 (32bit&64bit)、Windows10&11 (64bit)
- ハード環境 : HD容量 500MB 以上、メモリ容量 4GB 以上
- プロテクト方式 : HASP (USB) 方式、オンライン (IN) 方式、ネット認証システム (Lan 対応版)

お問合せ

ACCESS (URL) : <https://www.sipc.co.jp> (Mail) : mail@sipc.co.jp

株式会社 SIP システム
〒542-0081
大阪府大阪市中央区南船場 1-18-24-501 (大阪事務所)
TEL : 06-6125-2232 FAX : 06-6125-2233

ご案内

- ・本商品に関するご質問、資料請求、見積依頼等につきましては、お電話、メール等にて弊社「大阪事務所」迄お問合せ下さい。
- ・弊社ホームページより各商品概要のリーフレット、出力例等のダウンロードや体験版プログラムのお申込み等が可能です。